2017年1月30日 ご参考資料

楽読（ラクヨミ） Vol. 1,185

Raku Yomi

内外での環境改善を背景に、堅調が見込まれるニュージーランド・ドル

楽読（ラクヨミ）

nikko am fund academy

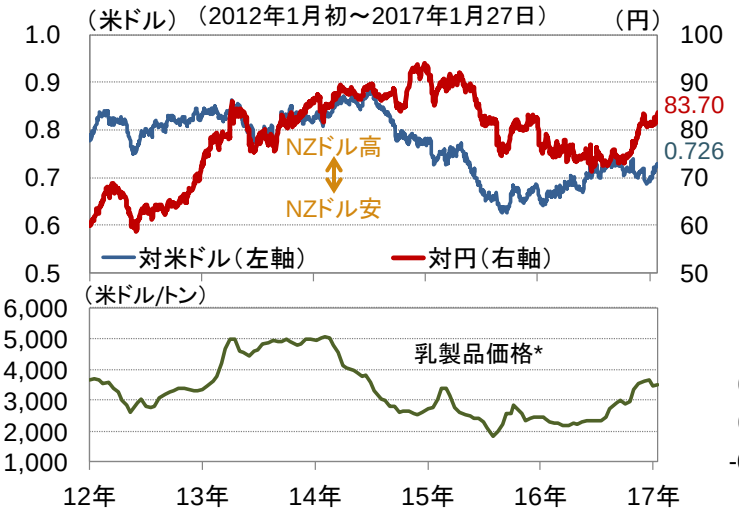
ニュージーランド・ドル（以下、NZドル）は、同国の主要輸出品である乳製品の価格下落に歯止めがかかった2015年夏場を底に対米ドルで持ち直しに転じました。また、対円では、投資家のリスク回避の動きを受けてその後も軟調が続いたものの、2016年11月の米大統領選挙でトランプ氏が勝利して以降は大きく反発しました。そして、乳製品価格が回復基調を辿る中、対米ドル、対円ともに足もとで堅調に推移しています。

乳製品価格は、今年1月半ば時点で、2014年2月以降の下落の半分強を回復しています。これは、ニュージーランドやEU（欧州連合）で生産が削減されただけでなく、中国の需要が回復傾向となり、供給過剰感が薄れてきたことが主な背景となっています。その中国で、消費が堅調なことに加え、経済成長率も足もとで底堅さを示していることは、同国を主要な輸出先とするニュージーランドにとって好材料と考えられます。

ニュージーランドでは、景気の押し上げに寄与してきた、2011年のクライストチャーチ地震関連の復興需要が一巡しつつあります。しかし、移民の流入などを背景に人口が急速に増加していることなどから、都市部を中心に住宅やインフラの建設が引き続き活発なほか、政策金利が過去最低水準に引き下げられている効果も期待されます。また、乳製品価格の持ち直しに伴ない、地方の景況感が改善するとみられることなどもあり、ニュージーランドの景気は今後も堅調に推移すると見込まれています。なお、ニュージーランドへの移住者の多くはアジアからですが、英国の国民投票でEU離脱が選択されて以降、ニュージーランドへの移住に関心を示す英国民が増えたと報じられています。さらに、英国への移住を考えていた欧州大陸の人々の間で、今後、移住先をニュージーランドに替える動きが拡がる可能性も考えられます。

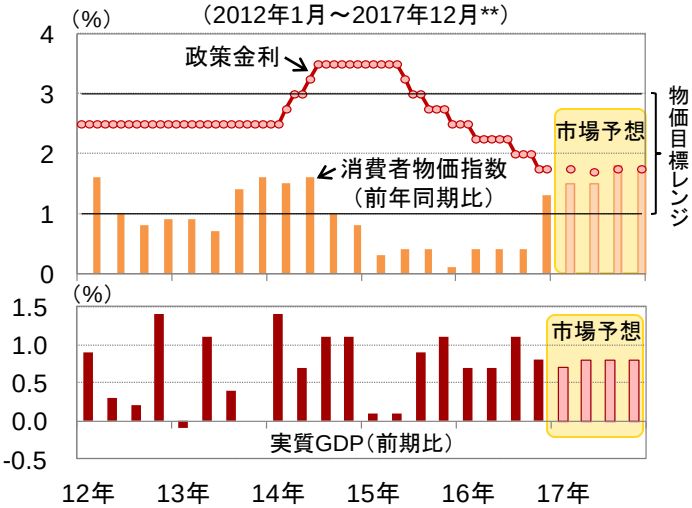
堅調な景気見通しに加え、物価上昇率の回復もあり、ニュージーランドでの追加利下げの可能性が低いとみられることも考え合わせると、ニュージーランド・ドルは今後も堅調に推移する可能性が高いとみられます。

ニュージーランド・ドルと乳製品価格の推移



*GDT平均価格（月2回発表、直近値は2017年1月17日）

政策金利と主要経済指標の推移



** 政策金利の実績は月末値、同予想、消費者物価指数、GDPは四半期ベース

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものおよび予想であり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。